

白河市

令和7年度 当初予算（案）

令和7年2月18日

令和7年度当初予算（案）

予算総額
（一般会計）



333億円

（前年度比 +20.0億円・+6.4%）

【歳入】

333億円（+20億円・+6.4%）

一般財源 総額

185億5,815万円（+1億4,053万円・+0.8%）

1 市 税 95億7,741万円
（+3億1,369万円・+3.4%）

2 地方交付税 66億6,949万円
（▲2億7,960万円・▲4.0%）

【内訳】普通交付税 56億5,000万円（▲2.9%）
特別交付税 9億5,000万円（±0.0%）
震災復興特別交付税 6,949万円（▲36.3%）
※臨時財政対策債 0円（皆減）

3 各種交付金 23億1,125万円
（+1億644万円・+4.8%）

特定財源 総額

147億4,185万円（+18億5,947万円・+14.4%）

4 国県支出金 74億6,711万円
（+9億952万円・+13.9%）

5 繰入金 16億6,818万円
（▲2億570万円・▲11.0%）
うち財政調整基金繰入額 10億円
（▲2億2,000万円・▲18.0%）

6 市 債 38億7,460万円
※臨時財政対策債を除く（+9億3,630万円・+31.9%）

7 その他 17億3,196万円
（+2億1,935万円・+14.5%）

【歳出】

333億円（+20億円・+6.4%）

1 義務的経費 142億9,059万円 （+4億6,192万円・+3.3%）

(1) 人件費 54億4,059万円 （+1億1,050万円・+2.1%）

一般職員（511人・▲9人）

39億1,398万円

（▲375万円・▲0.1%）

会計年度任用職員（457人・+31人）

14億5,954万円

（+1億2,328万円・+9.2%）

(2) 公債費 31億3,729万円 （+4,443万円・+1.4%）

(3) 扶助費 57億1,271万円 （+3億699万円・+5.7%）

障がい福祉サービス支給事業 17億2,338万円

児童手当支給事業 11億2,356万円

民営保育園等施設型給付事業 8億5,246万円

生活保護扶助事業 7億2,208万円

2 投資的経費 66億7,145万円 （+13億9,671万円・+26.5%）

3 一般行政経費 123億3,796万円 （+1億4,137万円・+1.2%）

（注）金額について、表示単位未満の端数は、記載区分毎に四捨五入している。

【歳出】

333億円（+ 20億円・+ 6.4 %）

2 投資的経費 **66億7,145万円**
(再掲) **+13億9,671万円・+26.5%**

複合施設整備事業 32億5,266万円
(+15億1,497万円)

道路・街路整備事業 9億6,880万円
うちセーフロード事業 1億2,000万円

表郷こども園建設事業 2億4,118万円

清水門復元整備事業 1億9,080万円

3 一般行政経費 **123億3,796万円**
(再掲) **(+1億4,137万円・+1.2%)**

白河地方広域市町村圏整備組合負担金 16億7,705万円
(ごみ・し尿処理、消防など)

下水道事業への支出 9億6,017万円

指定管理業務委託料 5億2,328万円
(コミネス、きつねうち温泉など)

予防接種事業 2億8,260万円
(带状疱疹ワクチン定期接種を含む)

※物価高騰や賃上げの影響による物件費の増

例) 通信運搬費 (主に郵便料) +2,715万円 (+25.9%)

施設管理等委託料 +2,916万円 (+8.4%)

(注) 金額について、表示単位未満の端数は、記載区分毎に四捨五入している。

豊かな未来を築くための3本柱

1 少子化対策

2 未来への投資

3 居場所づくり

人と人とのつながりを
大切にし、
「小さくても確かな幸せ」や
「真の豊かさ」
が実感できる
まちづくり



少子化対策



安心して子育てができ、子供たちが生き生きと生活できる環境を整備します。

保護者の経済的な負担を軽減

拡充 白河っ子すくすく応援クーポン券支給事業 32,070千円

- 1～3歳児の保護者へ3万円のクーポン券を交付
- 紙おもつなどこどもの使用する商品が対象
- こども服や下着など対象品目を拡充し、子育て世帯の満足度向上



〔クーポン券取扱店のマーク〕

家庭における読書活動の推進

新規 しらかわ子育てウェルカムブック事業 763千円

- 3歳頃からは、一般に「読み聞かせの黄金期」といわれる。
- 健診時に引換券を配付し、図書館で絵本をプレゼント
- 親子で触れ合う時間をつくり、想像力、共感力などを高めるための読書活動を推進



〔1歳児ブックスタートの様子〕

保育園機能、幼稚園機能を備えた認定こども園の整備

継続 表郷こども園整備事業 241,258千円

- 老朽化した保育園を幼稚園の隣接地に移転新築し、認定こども園へ
- 新年度は建築工事に着手し、令和8年度の2学期から供用予定
- 認定こども園では、幼稚園での給食提供などサービスの拡充を検討



〔完成イメージ図〕

少子化対策



放課後児童クラブの質向上を図り、より充実した時間を提供

拡充 放課後児童クラブ満足度向上事業 115,802千円

- こどもたちの体験や遊びなど育成支援の充実
- 支援員の資質向上による安心・安全で楽しく過ごせる居場所の確保
- 安定した人材確保による待機児童の解消

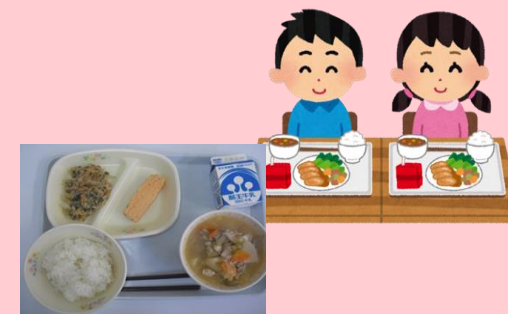


〔こどもたちの様子〕

物価高騰に伴う給食食材費の負担軽減

拡充 給食費負担軽減事業 55,566千円

- 物価高騰が続くなか、保護者の負担を軽減
- 給食食材の高騰分を市が負担
- 引き続き、栄養バランスや質・量を保った安全・安心な給食を提供



〔イメージ〕

若者同士の交流の場の創出

新規 ヨル活交流事業 1,826千円

- 平日の夜間に小規模な交流イベントをテーマを変えて複数回開催
- 若者の「自然な出会い」の場を創出
- 趣味の共有やコミュニティの形成

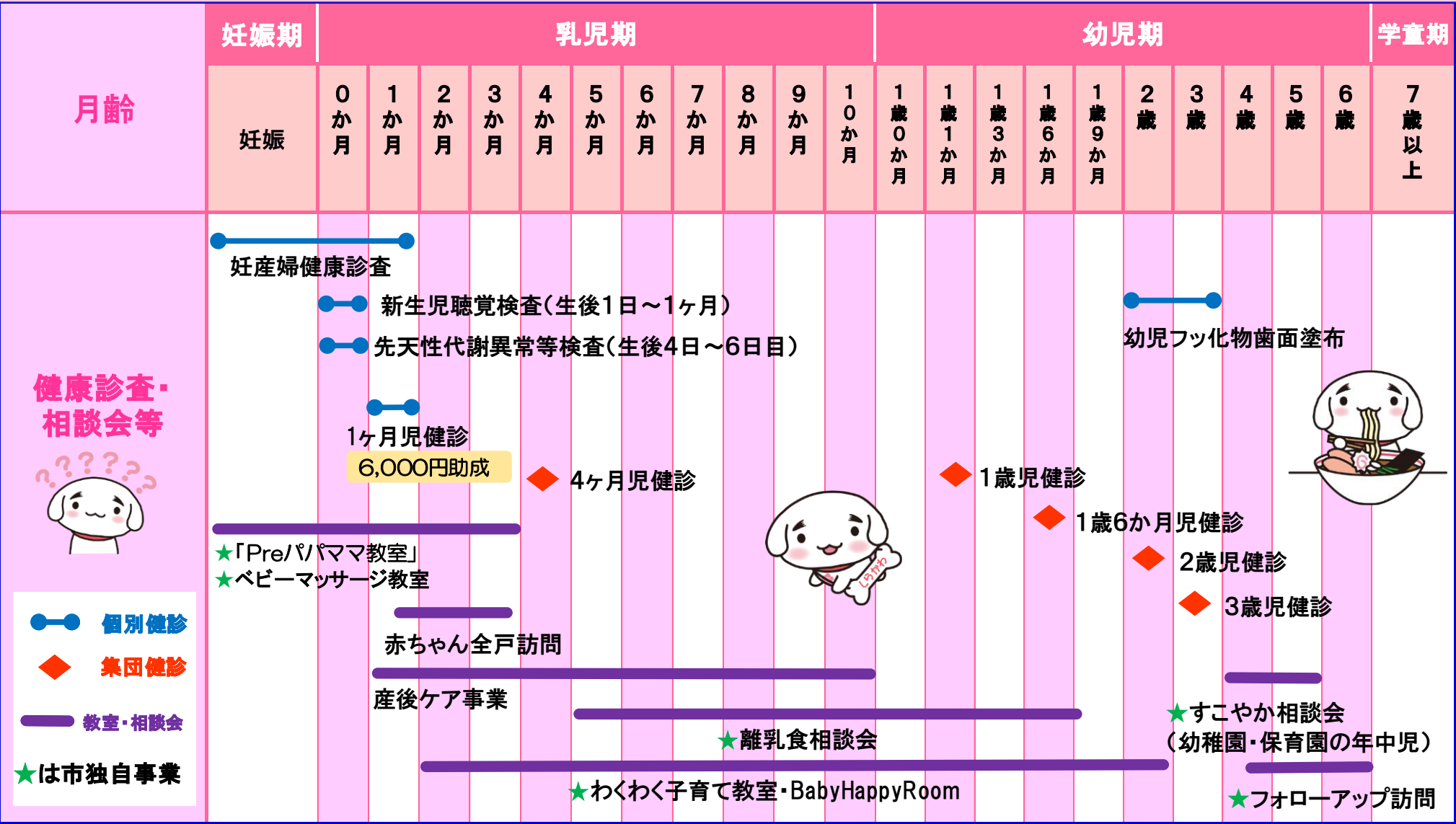


〔ヨル活交流のイメージ〕



白河っ子応援大作戦(白河市の子育て支援策)

●こどもを産み育てたいという家庭が増えるように、段階的かつ継続的な支援を行います。



月 齢	妊 娠 期	乳 児 期										幼 児 期										学 童 期	
	妊 娠	0 か 月	1 か 月	2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	6 か 月	7 か 月	8 か 月	9 か 月	10 か 月	1 歳 0 か 月	1 歳 1 か 月	1 歳 3 か 月	1 歳 6 か 月	1 歳 9 か 月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳 以上
助成制度・手続	●母子健康手帳交付 ●出産・子育て応援ギフト(妊娠、出産時5万円) ★妊産婦医療費助成 ●産前産後国保税免除 ★妊産婦のバス・タクシー運賃助成 ●妊婦にやさしい遠方出産支援 ★不妊治療助成												★白河っ子すくすく応援クーポン券(1.5万円) ★同応援クーポン券(1.5万円) ★同応援クーポン券(3万) ★同応援クーポン券(1.5万円)										品目の拡充
	●出生届 ●出産育児一時金(50万円) ★18歳以下国保税均等割減免 ●児童手当[0歳～18歳] ●こども医療費助成[0歳～18歳] ●子育て応援パスポート[0歳～18歳] ●未熟児養育医療給付[0歳～1歳未満]												●多子世帯保育料軽減 (第2子半額・第3子無料) ●病児保育事業[1歳～12歳] ●幼児教育・保育無償化										
★は市独自事業	白河っ子応援センター「ぽっかぽか」相談窓口																						
子育てサポート	ホームスタート、ファミリーサポート																						
	おひさまひろば，たんぽぽサロン，子育てサロン，大信子育て広場，ひがし子育て広場																						
	予防接種																						
	保育園										白河版こども誰でも通園事業					幼稚園			放課後児童クラブ				
	★ブックスタート										★ウェルカムブック					子ども食堂							
	白河っ子家事・育児サポート事業												子育て短期支援事業(ショートステイ) 令和7年4月～対象年齢を0歳児からとする										



未来への投資



働く意欲や活力がわく社会の実現とともに、未来へつなぐ人材の育成を図ります。

小規模事業者の経営基盤を強化

新規 小規模事業者ステップアップ支援事業 5,000千円

- 厳しさを増す小規模事業者の経営を支援するため、リスキリング、求人活動、広報動画などの費用を助成
- 従業員20人（商業サービス業にあっては5人）以下の事業者を対象
- 対象経費の4分の3、上限200千円を補助



【リスキリング】

後継者不在の個人事業主を伴走支援し、地域に残すべき財産を承継

新規 ビジネスリレーサポート事業 6,900千円

- これまで培ってきた高いものづくりや、親しまれてきた食など貴重な資源を次世代へ承継
- ノウハウを持つ企業と連携し、後継者不足の課題解決に向け伴走支援



【伝授の様子】

未来への投資



新たなニーズに対応するための支援体制を強化

【拡充】DX推進センター運営事業 16,072千円

- DX・知財の活用希望事業者の増加に伴い、個別支援体制を強化
- 知識や技術の習得、人材育成を目的としたセミナーや研修会の開催



〔市と専門家による協定締結〕

農業を支える地域の担い手を支援

【継続】農業の未来をつくるスマート農業推進事業 19,000千円

- 作業の効率化・省力化に向けたスマート農業機械の導入経費を助成
- 認定農業者、認定新規就農者、3名以上の農業団体が対象
- 導入経費の2分の1、上限1,500千円を補助



【スマート農業機械】

【継続】地域計画担い手確保支援事業 7,200千円

- 経営規模を拡大するために必要な農業機械等の導入経費を助成
- 地域計画に位置付けられ、経営面積を拡大する担い手（認定農業者、認定新規就農者）が対象
- 導入経費の10分の4、上限2,400千円を補助



【営農支援】

未来への投資



大河ドラマを契機に松平定信公の顕彰や観光誘客を促進

新規 大河ドラマ『べらぼう』を活用した観光PR事業 18,170千円

- ドラマの醍醐味を体感できるドラマ展を開催
- 官民連携の組織を立ち上げ、多彩なイベントを実施
- 公式ガイドブックへの掲載やパンフレットの作成
- 台東区、牧之原市、栃木市などドラマに関連する自治体との連携



さだのぶくん

〔マスコットキャラクター〕

松平定信公に関連する事業を展開

継続 三史跡観光PR事業 1,000千円

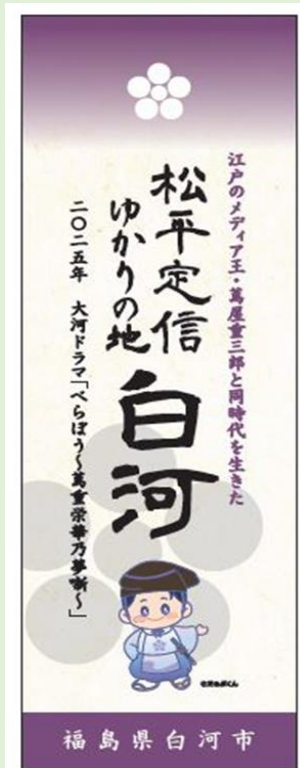
- 歴史好きのタレントなどを招き、トークショーを開催
- 奥の細道サミットを開催

継続 南湖魅力向上事業 7,873千円

- 夜間の魅力を高めるため、湖畔や湖面のライトアップを実施

継続 小峰城歴史館特別企画展開催事業 6,500千円

- 各地から資料を一堂に集め、定信公の優れた業績を紹介



〔ポスター・のぼり旗〕

居場所づくり



自分らしく過ごせる居場所が見つかり、心豊かに暮らせるまちづくりを目指します。

高齢者が安心して暮らせる体制整備

新規 終活準備支援事業 404千円

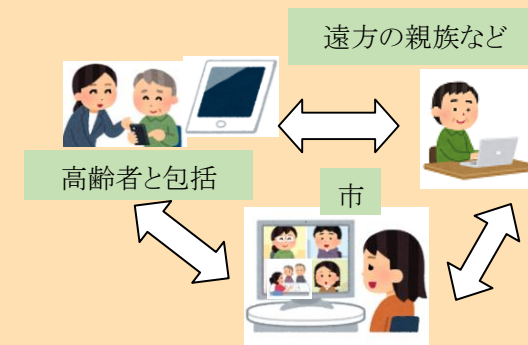
- 医療や介護の方針、終いまでの本人の希望を事前に確認し、支援シートを作成
- 支援が必要となった際に手続きを円滑化

新規 DX家族あんしん相談事業 3,168千円

- 単身高齢者、遠方の家族、支援者の三者がオンラインで面談
- 遠隔で安否確認や情報共有を行い、単身高齢者の早期支援を行う。

新規 見守りQRコード事業 568千円

- 読み取るとコールセンターに繋がるQRコードを発行
- 外出して戻らない認知症の方の早期発見・保護につなげる。



〔イメージ〕



〔イメージ〕

市の情報発信力を強化

新規 AIチャットボット導入事業 1,015千円

- 時間を問わず必要な情報をAIが回答
- 市ホームページ及び公式LINEから利用可能



〔チャットボットのイメージ〕



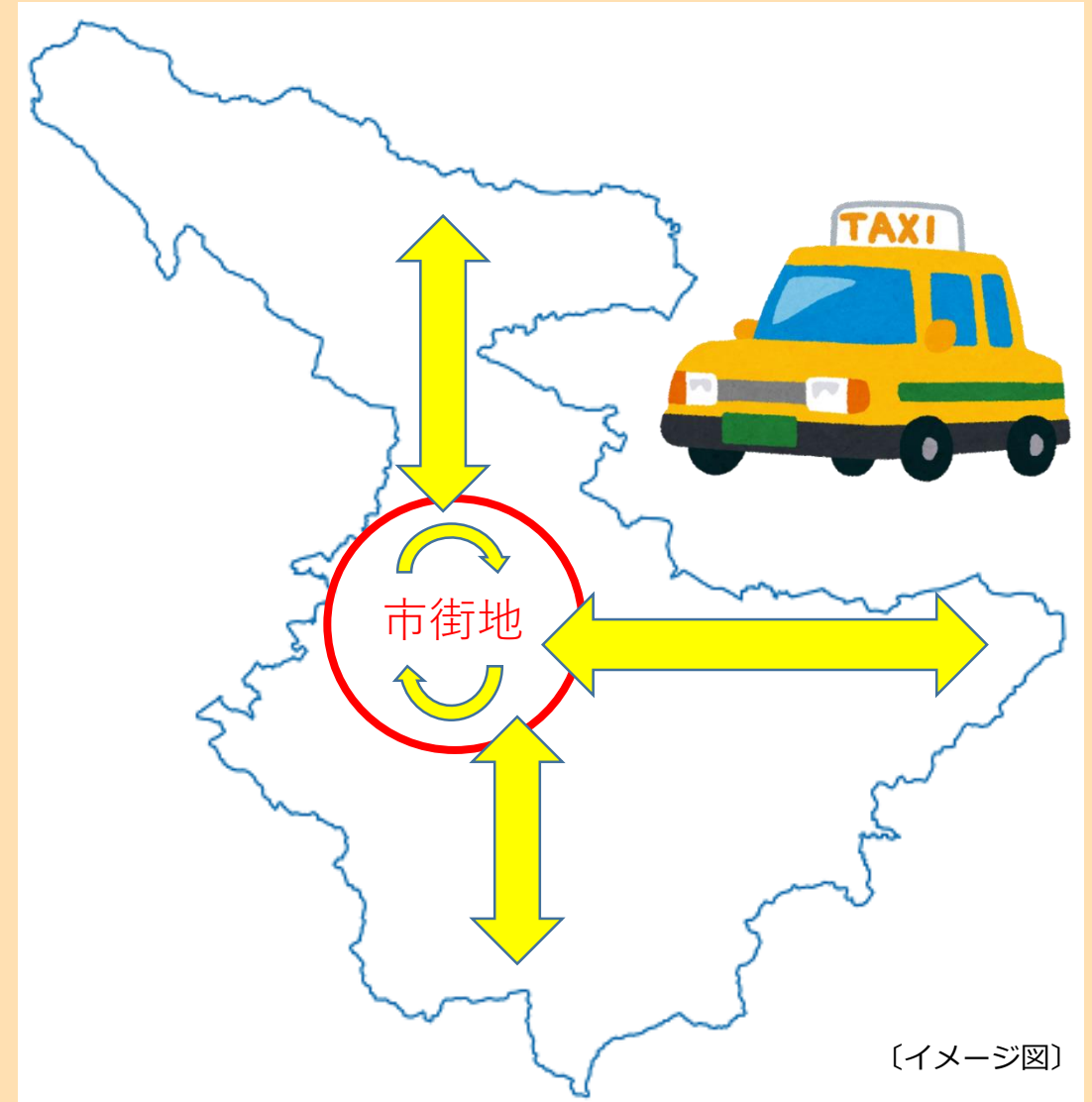
地域に適した公共交通基盤を構築

新規 公共交通移動需要調査事業 13,865千円

- 人口減少や一人暮らし高齢者の増加など、社会状況の変化に合わせて地区ごとに公共交通のあり方を見直す。
- これまでに一部の地区で「定額タクシー」等の実証実験を実施
- 新たに市内全域で料金半額の「定率タクシー」実証実験を実施し、地区ごとの需要を探る。

<定率タクシー>

- 事前登録制で、各地区から市街地までのタクシー料金を、一定期間半額とする。
- 対象者は65歳以上又は障がい者
ただし、路線バスのない地区は年齢制限なし
- 実施時期は地区ごとに設定



〔イメージ図〕

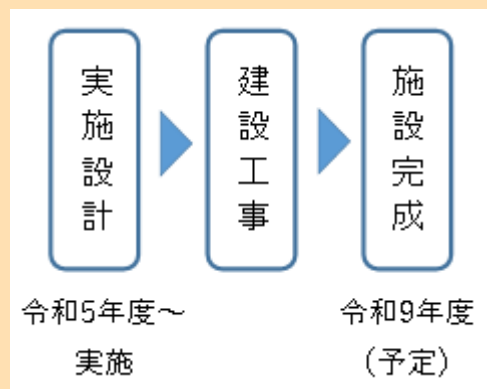
居場所づくり



中心市街地に新たに市民の交流・活動拠点を整備

継続 複合施設整備事業 3,272,945千円

- 市民会館跡地に「生涯学習」「子育て支援」「健康増進」の機能を柱とした複合施設を整備
 - ・ 生涯学習 : あらゆる世代の興味関心に応える魅力ある講座を開催
 - ・ 子育て支援 : 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援
 - ・ 健康増進 : 健康づくり、食育などライフステージに合わせた健康支援
- 子育て中の女性をメインとした就労支援や仲間づくり
- 誰もが自由に利用できるスペースやカフェを設置し、自然と賑わいや交流が生まれる場とする



〔外観イメージ（実施設計）〕



市民の誇りである小峰城跡の清水門を復元

継続 清水門復元整備事業 197,417千円

- 清水門は二之丸と本丸を結ぶ城内最大規模の櫓門
- 松平定信公時代に作成された実測図「白河城御櫓絵図」や発掘調査に基づき木造で復元
- 令和5年度から復元工事に着手している。
- 令和6年度に引き続き、瓦記名会を実施



〔清水門復元イメージ〕

表郷総合運動公園多目的グラウンドをリニューアル

新規 白河グリーンフィールド整備事業 23,000千円

- 県南地域にはサッカー競技を中心とした人工芝のグラウンドが未整備
- スポーツ環境の整備・充実（サッカーやグラウンドゴルフなど）
- 運動会やレクリエーションなど様々なイベントが開催可能
- スポーツ人口・交流人口の増加→地域活性化へ



〔人工芝生地のイメージ〕



白河市一般会計予算額 333億円
(重点事業分 95億7,732万円)